

スリーブ術後の逆流性食道炎予防の取り組み

* 術前の逆流性食道炎の症状、内視鏡検査、食道内圧検査（マノメトリー）、pHモニター検査を参考に手術方法を検討しています

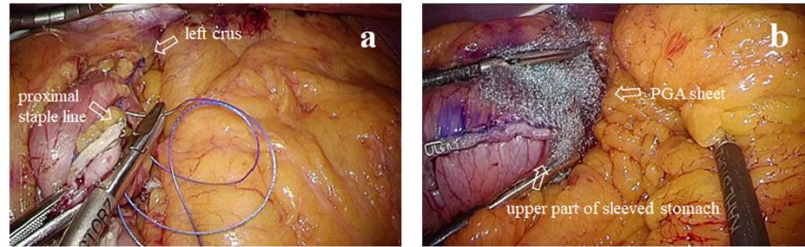


Figure 1. (a) The diaphragmatic crura is fixed with a proximal staple line. (b) Polyglycolic acid (PGA) sheet wrapped around the upper part of sleeved stomach.

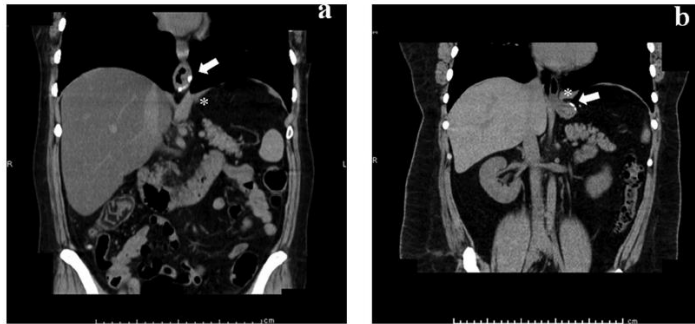
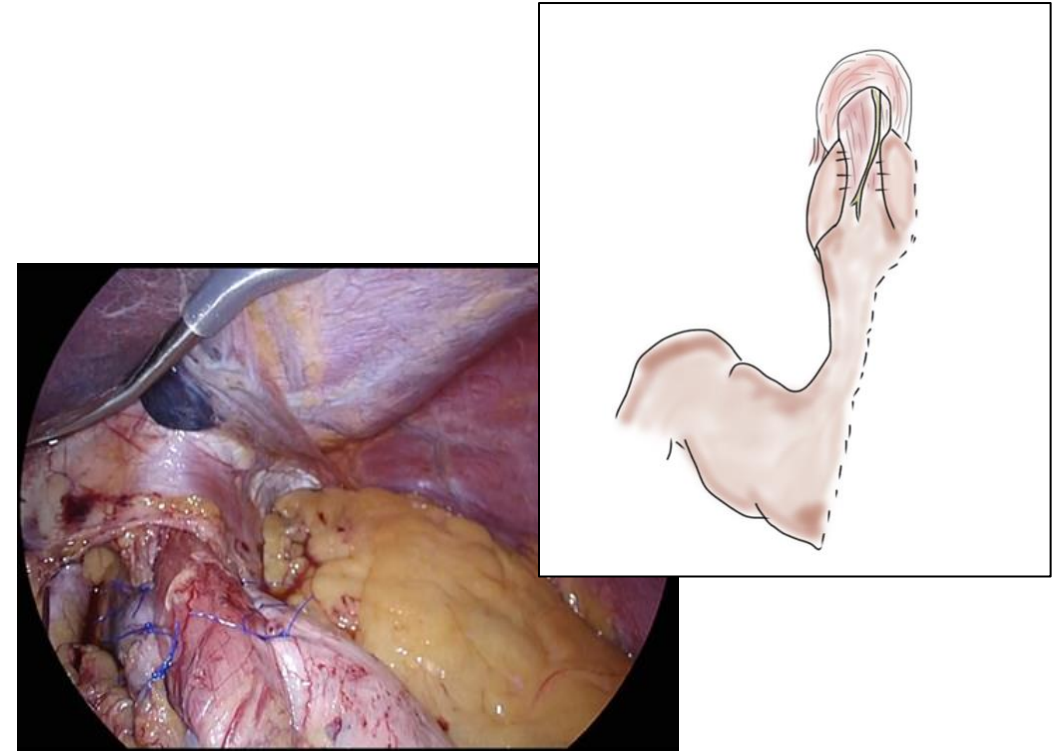


Figure 2. ITSM was defined as the presence of staple lines (arrows) above diaphragmatic crus (*) in coronal CT view: (a) ITSM (+), (b) ITSM (-).

(通常の) スリーブ時に行っている処置

- ・ 腹部食道周囲の剥離は必要最小限度
- ・ 胃上部にネオバールシート®を貼付し、逆流の原因となるIntra-Thoracic Sleeve Migration (ITSM)を予防する取り組み



Toupetスリーブ（日本では当院のみ）

- ・ 逆流の原因となる食道裂孔ヘルニア門の縫縮
- ・ 逆流予防になると考えられている、胃底部（胃の入り口）によるスリーブ状胃管への巻き付け